



碧南ロータリークラブ週報

第2988回例会 令和3年9月1日(水)

- 会長 新美 雅浩
- 幹事 栗津 康之
- 会場監督(SAA) 岡本 耕也

2021-2022 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

- 会報委員 石川鋼勇・鈴木 洋・藤関孝典・小林 尚

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

碧南市スポーツ少年団 副本部長 岡田一穂様
碧南市スカウト育成連絡協議会
ボーイスカウト碧南第2団 団委員長・
ボーイスカウト碧南第2団 ボーイスカウト隊 隊長 奥谷雅憲様

会 長 挨 拶

皆さん、こんにちは。今年度のロータリーが始まって、緊急事態宣言が初めて発令されました。クラブによっては例会を取り消しにしているところも多々ございますけれども、碧南 RC については Zoom を使ったオンライン例会を続けて参ります。画面越しの会員の皆様におかれましては、是非とも会場にお越しただいたというお気持ちでご参加いただけると幸いです。よろしくお願ひ致します。



新美雅浩会長

9月に入りまして、今日はたまたま防災の日ということになっておりますけれども、残暑の厳しい日が続いておりまして、秋の訪れを感じられる気配がまだまだ遠のいております。熱中症とコロナウイルスの蔓延を警戒していただく毎日が続きますけれども、どうぞご自愛いただきますよう、お願ひ致します。

本日は個人奉仕と団体奉仕に関するお話をさせていただきたいと思ひます。今月は15日にガバナー補佐訪問がございます。また、29日にはガバナー公式訪問が予定されておりますので、この場でロータリーの理念に関わる情報を皆さんと共有させていただくということで、少し硬い話になりますけれども、しばらくの間お付き合いさせていただきたいと思ひます。私がロータリークラブに入りまして、ロータリークラブとライオンズクラブの違いを色んな方から

尋ねられることがございました。単純にロータリークラブは I Serve、ライオンズクラブは We Serve という回答をする場合もございますけれども、今のご時世ではそれがなかなか通じない世の中になっております。間違いのない言い方をしますと、ロータリークラブは世界初の奉仕団体と言われておりまして、ライオンズクラブは世界最大の奉仕団体と言われております。ただ、これも非常にわかりにくい表現でございますので、ロータリークラブのことをもう少し端的に説明すると、ロータリークラブは会員それぞれが職業倫理を高める職業奉仕活動が基本となりまして、クラブとは奉仕をするクラブ会員であるロータリアン個人の集合体であり、RIはそのクラブの連合体とされております。そして、個人のみならずクラブ単位や RI としての奉仕プログラムも行われております。というのが、一般的に言われているロータリークラブになるかなあと考えます。

ところで、今から 40 年程前に就任しました RI の会長が世界のロータリアンに提唱されまして、そこで大きな問題になった発言がございますので、ご紹介致します。

「ロータリアンがそれぞれの個人奉仕で 100 丁の鉄砲を撃ったとしても大したことはできません。RI に 1 門の大砲を作って、そこで煮詰めて奉仕活動を行えば、非常に大きな効果が表れる。だから、RI に沢山寄付をしてほしい。」

そういったことを RI の会長が提言されたという記録が残っております。当時、この発言はロータリーの理念に反する話ということで問題になりまして、大きな批判を浴びられたということでございます。ロータリーの基本理念というのは、100 丁の鉄砲を 1 門の大砲に集約して煮詰めるという発想ではなくて、100 丁の鉄砲をそのまま 100 門の大砲に育て上げていくというのが、ロータリーの基本的な考え方だと言われております。クラブで団体奉仕活動をしていくことについては、碧南 RC では財源上の制約や理事会の承認を得なければいけないということがございます。活動する地域もこの地域に限られております。また、ロータリークラブは政治的な活動が禁止されておりますので、そういった制約もございます。一方、個人奉仕にはこのような制約はございません。ライオンズクラブがそもそも個人ではなくて、団体としてまとまった形で社会奉仕活動をするということに對しまして、ロータリークラブは一人一人の奉仕をしたいという動機を尊重して、それぞれが職業を通じてサービスレベルの向上と人間性の向上に磨きをかけるということが大きな違いであるかなあとというふうに考えております。そんなことをお伝えしまして、本日の会長挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ロータリーレート変更ということで、RI 日本事務局より 9 月のレートのお知らせが届いております。現行 1 ドル 110 円から 110 円（8 月と同じ）になります。
- 日本のロータリー 100 周年実行委員会ビジョン策定委員会より「日本のロータリー 100 周年ビジョンレポート 2020（資料編）入手方法について」ご案内



栗津康之幹事

内が届いております。

- ・ 西尾 KIRARARC より「創立 30 周年記念誌 DVD2 枚組」が届いております。

委員会報告

<ニコボックス>

- 鈴木きよみ君 本日のクラブフォーラム「青少年活動の助成金贈呈及び活動報告」ありがとうございます。
- 岡本 耕也君 9月3日の東海テレビ、午前9時50分～11時15分のスイッチの中の昭和すいっちのコーナーで当社が取り上げられる予定です。主役は残念ながら私ではなく、妹ですが、お時間のある方は是非ご覧いただき笑ってやってください。

<親睦活動委員会>

会員誕生日

- 12日 長田 豊治君 13日 岡本 明弘君 24日 水谷 文則君
25日 石川 鋼逸君

奥様誕生日

- 15日 長田 和徳君の奥様 真由美様 21日 竹中 誠君の奥様 みのり様
26日 森田 雅也君の奥様 千恵子様

結婚記念日

- 2日 梶川 光宏君・久実子様 20年 24日 黒田 昌司君・みゆ子様 42年
26日 山中 寛紀君・恭子様 39年 30日 杉浦 邦彦君・真理子様 20年

クラブフォーラム

「青少年活動の助成金贈呈及び活動報告」

碧南市スポーツ少年団 副本部長 岡田一穂様



岡田一穂様

只今は貴重な貴クラブ様の助成を賜り、厚く御礼申し上げます。私、碧南市スポーツ少年団の会計を担当しております副本部長の岡田と申します。本来ならば、本部長の伴野がこの席に赴き、御礼を述べますところでございますけれども、たまたま昨日、2回目のコロナワクチン接種を施し、万全の体調管理をしたいとのことで、私が代理とさせていただいておりますこと、ご容赦お願い致します。

碧南市スポーツ少年団は西三河支部大会の開催地となったことをきっかけに、これは確か平成3年だったと思いますので、今から30年程前に創設されました。創設当時の役員は私しか残っていないような状態ですけれども、当時は子供が主役の団体として、総会の進行などの業務を子供たちに体験してもらい、スポーツ以外にも社会性を学ぶ場としての役割を果た

したものと思っております。

現在、スポーツ少年団には「空手道・卓球・サッカー・剣道・野球・新体操・ソフトテニス・陸上・バスケットボール」の9種目31団体、1,212人の小中学生が加入しております。市内の小学校7校に3,992人、中学校5校に2,165人が在籍しておりますので、約20%の子供たちが私共の少年団に加入していることとなります。これは5人に1人が加入ということになります。

令和2年度の決算を見ますと、歳入額は1,355,583円、歳出額は1,087,100円、次年度へは268,483円を繰り越しております。令和3年度において、予算額に大きな変わりはないですけれども、指導者講習会として「スポーツ栄養学」をテーマに開催していくよう、準備を進めております。

平成29年10月、日本スポーツ少年団顕彰において、私共のスポーツ少年団が顕彰されました。愛知県内においては4団体が愛知県教育会館において表彰されており、この表彰の基準は、

1. 永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある市区町村スポーツ少年団を表彰する。

これに該当する団体であるということで、表彰されました。因みに私個人ではありますが、同年、愛知県スポーツ少年団の表彰を受賞し、令和元年11月には、

2. 永年にわたりスポーツ少年団の指導・育成に貢献し、特に顕著な功績のある登録指導者を表彰する。

これに該当するというので、日本スポーツ少年団より顕彰を受賞させていただきました。これは碧南で初めてのことでと思います。

次第を拝見致しますと、まだまだ沢山の案件があるようでございますので、私からのご報告を終えさせていただきます。これからも青少年の健全な育成を目指して、私共、碧南市スポーツ少年団は鋭意努力をして参ります。改めて、皆様のお力添えを今にも増して、特に増し、増しまして、お願いするものであります。

本日はお招きくださりまして、誠にありがとうございました。

碧南市スカウト育成連絡協議会

ボーイスカウト碧南第2団 団委員長・ボーイスカウト碧南第2団 ボーイスカウト隊 隊長 奥谷雅憲様



奥谷雅憲様

碧南市スカウト育成連絡協議会 ボーイスカウト碧南第2団 団委員長の奥谷でございます。本年度も多大なる助成金をいただきましたことをまずもって御礼申し上げます。ありがとうございます。ボーイスカウトの活動について、何点かお話をさせていただこうと思います。

私共ボーイスカウトは碧南に2こ団ございます。中央・南中学区に碧南第2団として、他を碧南第1団とします。1団の方の加盟登録者数が50名程、2団の方が20数名ということ

で、全体で碧南市には70～80名程のボーイスカウトがおります。昨年、碧南第2団が25周年を迎えました。25年前の当時は碧南にボーイスカウトは1団しかございませんでしたが、中学生年代のボーイスカウト隊には60名を超える青少年がおります。小学校低学年から高学年を対象としたカブスカウト隊には同じように60名を超えるスカウトがおります。当時、それだけの子供たちを対象に色んな野外での活動を行うには安全の確保ができないということから、団を2つに分けて活動に取り組むというふうになりました。サイクリングに行きますと、先頭から最後尾までとなると何kmという幅ができてしまうことから、安全が確保できないということがありました。それから、キャンプへ行けば、人数が多い為にキャンプをやるスペースの確保が難しくなり、広範囲にわたってのテントを張ってキャンプを行うということであれば、やはり、成人指導者である我々の目が届かないというところで、安全の確保ができないということから2つに分けました。昨年、25周年を迎えましたが、残念ながらコロナ禍ということで、周年の事業を何もすることができませんでしたが、今回、この場所でご報告はさせていただきます。

活動報告として、コロナ禍での活動ということですが、昨年、全国に緊急事態宣言が発令されて、ボーイスカウトの日本連盟から「コロナ禍において、緊急事態宣言が発令中は全ての活動を中止もしくは延期すること」という書面が届きました。全ての団において、活動を見合わせるということで、昨年度につきましては、ほぼほぼ活動することができませんでした。今年になりまして、緊急事態宣言が発令中は昨年同様の状況でした。ただ、先月などはまん延防止等重点措置の期間でしたので、我々は碧海地区（碧南、高浜、刈谷、安城、知立）での野営大会を行いました。名称は「2021 碧海地区合同野営」ということで、8月9日～14日まで安城市茶臼山高原野外センターというところで開催をしました。これは長野県下伊那郡根羽村というところがございます。安城市の小中学校が林間学校で使用する施設だそうです。標高が1,250m程のところでしたので、この時期でも晴れていて25度ぐらいということで、非常に快適な場所なんです。実はこの時に台風9号・10号・11号の3つが同時に発生しており、台風が接近している中で山に向かって行くということになりました。目的は「キャンプを通してスカウトの進級と進歩、成長に繋げる」ということで行いました。目的に対しての目標として、「自ら考え、行動し、振り返ることができるようになる。環境の大切さを考え、その偉大さを体感し、自然の恵みに感謝する気持ちを育む。スカウト相互の交流の場を持ち、親睦を深める。」ということを設定しました。参加者は100名程度を想定しておりましたが、結果として106名が参加しました。碧南からは18名のスカウト、指導者が参加しました。スカウトたちは十分にこの目標を達成できたというふうな印象を持っております。

今年の夏は大きな事業として、碧海地区でのキャンプを行うことができました。現在は緊急事態宣言が発令されてしまって活動自体がなかなか難しくなっておりますが、今後もスカウトたちが楽しみながら成長できる活動を展開していきたいなあと考えております。今後も色々な場面でボーイスカウト運動、スカウトの活動に対して、ご理解とご協力をいただくこと、お願いすることばかりかと思いますが、よろしくお願い致します。

本日は大変貴重なお時間をいただきましたことを感謝致します。また、多大なる助成金をいただきましたことを御礼申し上げます。ありがとうございました。

次回例会案内

令和3年9月15日（水） ガバナー補佐訪問

西三河分区ガバナー補佐 伊藤正幸様

〃 分区幹事 黒田泰弘様

第2760地区 地区副幹事 成瀬介宣様